

# 続・ふるさと

## こぼれ話

### おおき 青木の親腸先生③

— 酒井良清物語 —

昭和30年ごろには公民館活動も軌道に乗り、優良公民館として県から表彰されるほどになっていた。

南高根沢公民館で特筆すべきは、昭和31年4月20日から始まった移動公民館活動である。芳志戸の公民館から遠く、公民館事業の恩恵を受けられない集落を巡回して公民館事業に参加してもらう狙いがあった。巡回日は、毎月20日と決められた。

農協のオート三輪車を借りて、本が外に飛び出さないようにフタ付きの特注の本棚を車の荷台に固定した。荷台に人が乗れるよう、警察に「定員外乗車許可」をもらい7、8人が乗れるようにした。田畑で農

作業中の人にも聞こえるよう拡声器も取り付けた。

荷台に乗ったのは、農業技術指導・相談を担当する水橋農業改良普及所の吉田幹男さん、農作物の作付・農業経営相談を担当する農協の黒崎さん、役場の広報・行政相談を担当の古塚弘さん、酒井先生とともに血圧測定・健康相談に当たる保健婦の黒岩マツさん、図書の貸出し、紙芝居や映画を担当する公民館職員の知久五郎さん、大島敏郎さんたちであった。

先頭を公民館長の酒井先生のオートバイが走り、白地に「移動公民館」と墨で黒々と書いた幟を立てたオート三輪車と役場の

## 第71回

オートバイが後に続いた。

巡回した集落は、下原・谷津・大塚・八ツ木宿・八ツ木台・給部・上稲毛田宿・加賀地の8カ所。これが最終的には集落からの要望で16カ所になった。目指す集落近くになると拡声器で「こちらは南高根沢公民館です。移動公民館にまいりました。集合場所にお集まりください」と移動公民館が来たことを知らせた。



▲中央に立つのが親腸先生

(つづく)



## しまたがしの芳賀の自然

23



キタテハ チョウ目タテハチョウ科

写真提供＝芳賀町自然に親しむ会 撮影場所：町内  
分布＝北海道～九州  
生息地＝荒地、河原など開けた場所（人家周辺でも発生）  
時期＝2月～11月（発生：年2～5回）  
食性＝花や樹液、腐った果実など  
大きさ＝開張（羽を広げた最大値）25～30mm  
特性＝羽は前後とも表は黄色、裏は赤褐色。表には褐色の縁取りと黒い斑点がある。黄色っぽい夏型と、越冬する秋型（オレンジっぽい）がある。

## 編集後記

□2月イベントの一つ節分。町内各神社でも豆まきが行われます。  
□節分と言えば、豆まきに福茶、年の数だけ豆を食べたりするのは、昔から定番でした。でも、いつのころからか、この辺りのスーパーなどにも恵方巻が並ぶようになりましたね。関西から全国に広まった恵方巻。今年の恵方は「西南西」とのこと。恵方巻に深い思いはありませんが、今年もなんとなくそっちの方を向いて食べそうです。

(Y)



▲かしの森公園

■編集 芳賀町広報広聴委員会  
☎028 (677) 6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp  
■発行 芳賀町企画課  
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地  
■芳賀町ホームページアドレス  
http://www.town.haga.tochigi.jp  
④芳賀町の携帯サイトはコチラから➔

